

Discover Chiba

千葉が誇る

日本一



第12回

縄文時代の貝塚

《今回の日本一》

・貝塚の数

(千葉県)

・貝塚密集度

(千葉市)

・貝塚の大きさ

(加曽利貝塚)



空から見た「加曽利貝塚」



千葉県内の貝塚で出土した主な貝類

千葉県内には500ヶ所以上の貝塚があり 貝塚の数日本一!

日本全国には約2,300ヶ所以上の貝塚がありますが、そのうち約600ヶ所が東京湾沿岸にあり、さらにその約500ヶ所が千葉県で発見されています。つまり、日本にある貝塚の5分の1以上が千葉県に存在しているのです。

千葉県を含む東京湾沿岸で確認されている貝塚は、特に大型のものが多く、貝塚文化が栄えていたことがわかっています。これは、縄文時代の海岸線が現在よりもさらに内陸にあり、東京湾が遠浅の海で貝の生息に適した環境にあったこと、縄文人が捕りやすい場所に貝が多く生息していたことなど、貝塚を作りやすい土地の条件が揃っていたことが要因と考えられています。

さらに、もう一つ、これほど多くの貝塚が千葉県に存在する理由に「東京湾の潮の流れ」の特徴があげられています。東京湾は時計回りに潮が流れているので、関東地方半域以上から集められたたくさんの植物プランクトンを含む雨水が、時計周りの潮の流れに乗って千葉県領域に運ばれてきます。それによって栄養豊富な海水と遠浅の海岸線という恵まれた物理的条件が整い、千葉県では昔から貝が豊富に捕れ、大きな貝塚ができたのではないかと推測されています。

●東京湾の潮の流れと貝塚分布



●千葉県内に分布する貝塚 ●千葉県外に分布する貝塚



千葉市内には大小合わせて110ヶ所の貝塚があり 貝塚密集度日本一!

縄文時代、遠浅の豊かな海岸線に広がる千葉市には実に多くの人々が生活していて、加曽利貝塚をはじめとする多くの貝塚が発見されています。その数、なんと110ヶ所。

しかも、国指定の史跡となっている貝塚は、加曽利貝塚の他にも、あと4ヶ所存在します。世界に名だたる「貝塚の街」千葉。国指定史跡の貝塚探検に出かけてみませんか?

●千葉市内の主な貝塚の分布



①横橋貝塚

約3.5ヘクタールの豊かな歴史公園。なだらかに変化する草原が大部分を占め、その脇には地面に貝殻が露出している林があります。昭和56年12月国指定史跡に制定。
●千葉市花見川区さつきが丘1-18

②荒屋敷貝塚

縄文時代前期から後期に作られた大型馬蹄形貝塚。直径約180メートル、貝層の厚さは3メートル。昭和54年3月国指定史跡に制定。
●千葉市若葉区貝塚町726-1ほか

③花輪貝塚

加曽利貝塚の南方約800メートルに位置し、標高30メートルの高台にあります。縄文時代後期前半の貝層です。平成18年7月国指定史跡に制定。
●千葉市若葉区加曽利町1014-1ほか

●お問い合わせ／千葉市生涯学習振興課 TEL.043-245-5962

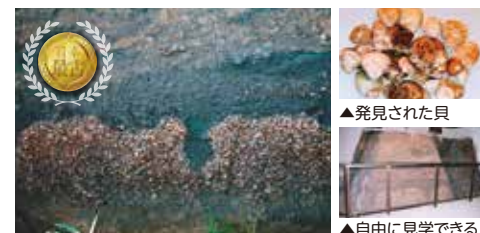
④月ノ木貝塚

縄文時代中期から後期に作られた大型馬蹄形貝塚。東西150メートル・南北200メートル。昭和53年3月国指定史跡に制定。
●千葉市中央区仁戸名町289-1ほか

●お問い合わせ／神崎町教育委員会 香取郡神崎町神崎本宿96 TEL.0478-72-1601

ここにもあった日本一!

県指定史跡(千葉県香取郡) にしのじょう 日本最古の「西之城貝塚」!



▲貝層断面を見ることができます。

▲発見された貝



▲自由に見学できる展示施設

JR成田線下総神崎駅から西に1キロメートルの台地で発見された西之城貝塚は、縄文時代早期初頭に形成された日本最古の貝塚として貴重な史跡の1つです。淡水と海水の接点に生息するヤマトシジミを主体とする主淡貝塚で、淡水産のタニシ、カワナナその他、海水産のハマグリ、オキシジミなどが径20メートルの範囲で発見されました。

この貝塚は縄文人が初めて食糧資源を海に求め、貝塚を作ったものです。貝塚文化とも呼ばれる千葉の縄文文化を知る上でとても重要な存在です。

加曽利貝塚は、連結する北貝塚と南貝塚を合わせると

貝塚の大きさ日本一!

加曽利貝塚は、ドーナツ型に盛り上がった直径130メートルの北貝塚と、馬のひづめの形をした直径170メートルの南貝塚がつながり、全国でも珍しい8字形をした貝塚です。その総面積は134,500平方メートルにも及び、世界最大級・日本一大きな貝塚として国指定の史跡にもなっています。約5,000年前から約3,000年前のものという貝塚のまわりには、当時の人々が暮らしたムラの跡が広がっていて、縄文時代の人々の生活ぶりを知るための貴重な品々が発見されています。



▲発見された時の北貝塚断面

⑤加曽利貝塚 ●千葉市若葉区桜木町141 ほか



インタビュー

縄文時代に想いを馳せ タイムトリップできる施設に。



千葉市立加曽利貝塚博物館
主査 石橋 一恵 さん

縄文時代の貝塚と当時の人々が暮らしていたムラの跡が残る加曽利貝塚は、現代を生きる皆さんが、はるか時を超えて縄文時代に想いを馳せ、楽しく体感できるよう野外博物館としての整備を進めています。

博物館では、加曽利貝塚から発見された土器

や石器の他、厚い貝殻の層によって残された獣や魚の骨などから、東京湾沿岸に貝塚を作った縄文人たちの暮らしをわかりやすく展示しています。貝塚から出土したものを調べると当時の食生活や人々の暮らしが推測できたり、アクセサリーなどから、健康や安産などを願う人々の精神生活などまで見えてくるようです。

一方、野外には食用や薬用になる貴重な植物が遺跡と共に保存されていて、貴重な植物観察をしながら散策することができます。公園内は一般開放されていますから、四季折々に咲く季節の草花を楽



▲北貝塚の竪穴住居跡の観覧施設

しみに多くの方が来園されていますね。それから、北と南の貝塚の両方に、貝塚の断面が見られる施設があり、北貝塚では縦穴式住居跡が観覧できる建物もありますから、ぜひ見ていただきたいと思います。これは遺跡を合成樹脂で固めたりした先進の保存科学が生かされていて、発掘当時のまま観察できる日本一の規模を誇る施設なんです。お子さまにも来ていただいて、考古学などに興味をもってもらえるきっかけになると嬉しいです。



▲出土されたアクセサリー類



▲出土された磨製石斧・打製石斧等

貝塚Q&A

Q 貝塚って何？

A 貝塚とは、貝殻が大量に捨てられた跡です。しかし、貝塚をよく調べてみると、縄文人が食べた貝だけでなく動物の骨や角、壊れた土器石器、あるいはいねいに埋葬された人骨や動物の骨なども発見されています。貝殻のカルシウム分が酸性の土を中和させ、一般の遺跡では残っていないような遺物もタイムカプセルのように保護してくれた場所なのです。

Q 縄文時代っていつごろ？

A 縄文時代というのは、縄文式土器が使われていた時代のことですが、およそ15,000年前から3,000年前までの12,000年の間が縄文時代といわれています。地層から発見された縄文式土器の種類によって(縄文)草創期、早期、前期、中期、後期、晩期などに年代を表します。土器は現代の鍋の役割をし、その発明によって野草や貝などを煮て食料にできるようになり、保存も可能になりました。



▲加曽利貝塚
北貝塚
貝層断面(部分)

先人のやり方そのままに縄文土器をつくろう!



復原された縄文時代の住居

加曽利貝塚で発掘された2種類の縄文土器。



◀加曽利E式土器
(縄文時代中期の層から発掘された土器)

加曽利B式土器
(縄文時代後期の層から発掘された土器)

「土器づくりの会」

加曽利貝塚博物館では、開館して4年目の昭和44年から縄文土器の製作実験をスタートさせました。土器を実際に作ることで、土器の情報をもっと引き出そうとする取り組みでした。昭和47年になると、その成果を広く市民のみなさんに知ってもらおうと、体験学習「土器づくりの会」を開催。以来、毎年、春と秋の2回、18歳以上の一般市民を対象にしたもの、夏休みには小学校5・6年生を対象にしたもの

など、年3回開催しています。

この土器づくりは、単に縄文土器そっくりのものを作るのではなく、実際に煮炊きできるものを目標に、市販の粘土は使わず、千葉市内の粘土を採集して製作します。縄文人の気分で土器づくりができる貴重な機会です。



ねんども粘土紐を積み上げています



よひも撚り紐をこころがして、縄文をつけています



焼きあげの様子です

●開催日／開催日程は、お問い合わせください。(毎年春・秋)

●問い合わせ／加曽利貝塚博物館 千葉市若葉区桜木8-33-1 TEL.043-231-0129

縄文人の食べ物を再現した地域グルメ発見!

日本を代表する文化史跡「加曽利貝塚」。そんな価値ある史跡を有する貝塚周辺のまちづくりと地域の活性化につながればと考案されたのが「縄文シリーズ」のグルメ商品たち。手がけたのは、地元でお弁当などのケータリングを行ってきた会社です。



①縄文まんじゅう…1個 ¥250(税込)
ふっくらもちもちの皮と甘辛味の具が、絶妙のハーモニーを奏でます。

②縄文おやき………1個 ¥200(税込)
おやきは、伝統的な焼きまんじゅう。米粉をこね、山菜などの具を練り込んで焼き上げた香ばしさが魅力。



◎縄文そば
1人前 …………… ¥600(税込)
縄文人が食べていたと言われるアサリなどの貝や山菜をたっぷり使い、しょうゆ味のあっさりあんかけ汁でいただく縄文そば。千葉県産のそば粉を使い、地産地消を実践しています。



◎縄文弁当 1人前 …… ¥682(税込)
3つの丸いおにぎりは、アサリ、うめ、わかめをトッピングし、あえて海苔を巻かずに縄文時代らしい素朴な仕上げに。しかし、エビの天ぷらや貝の佃煮、煮物などは老舗の味を感じさせる本格派の幕の内。「縄文弁当といえども美味しくなければ、現代の皆さんに提供できません」と開発に携わったオーナーは自信を覗かせます。縄文時代と現代が融合した加曽利らしいお弁当です。下記の店で販売されています。

加曽利 房の駅

千葉市若葉区加曽利町312-1
TEL.043-232-3700
営業時間／午前8時30分～午後8時
(年中無休)

千葉市内の区民祭や各種イベント会場のみで販売されます。

●お問い合わせ 仕出料理 縄文亭 千葉市若葉区加曽利町1580-4
《有限会社 飛馬(ひうま)内》 TEL.043-214-7760
お弁当注文可能時間／午前9時～午後5時(年中無休)



知ってる? 知らない?

加曽利貝塚周辺
インフォメーション!



加曽利貝塚で開催されるイベント



縄文ムラまつり

縄文時代スタイルの火起こし体験や衣類を作るためのアングィン編み体験、ぶんぶんコマづくり、縄文衣の試着など

楽しい企画がいっぱいです。加曽利貝塚南貝塚復原住居周辺で開催します。同時に土器づくりの実演を旧大須賀家住宅で行いますので、お楽しみに!

●開催日／平成25年11月9日(土)・10日(日)

●時間／午前10時から午後3時



縄文土器作品展

加曽利貝塚土器づくり同好会のみなさんの活動の成果を、実際の作品やパネルなどで展示と紹介をします。土器づくりの奥の

深さ、その魅力に触れてみませんか。今回は縄文時代中期の土器をモデルにして作った作品を数多く展示します。

●開催日／平成26年2月1日(土)～2月28日(金)

●時間／午前9時から午後5時



加曽利貝塚縄文ひろば・夏休み縄文体験

縄文時代の人ってどんな風に暮らしていたのかな? どんな服を着て、どんな遊びをしていたの? 子供たちが楽しく学べるよう、火起こしやアングィン編み、ぶんぶんコマづくり、アクセサリーづくりなどにチャレンジしましょう。

こしやアングィン編み、ぶんぶんコマづくり、アクセサリーづくりなどにチャレンジしましょう。

●開催日／夏休み期間中

●時間／お問い合わせください。

●問い合わせ／

加曽利貝塚博物館

千葉市若葉区桜木8-33-1
TEL.043-231-0129

●入館料／大人60円・小中学生30円

●会館時間／午前9時～午後5時

●休館日／毎週月曜日・祝日・年末年始

